

第九十回帝國議會
衆議院

食糧緊急措置令(承諾を求める件)委員會會議錄(速記)第十回

付託議案
食糧緊急措置令(承諾を求める件)

昭和二十一年八月二十一日(水曜日)午
前十一時三分開議

出席委員

委員長 成島 勇君
理事 岩本 信行君 理事 坂本 實君
理事 森 幸太郎君 理事 馬越 晃君
理事 松岡 運君 理事 須永 好君
理事 細野三千雄君

板倉 治作君 大井直之助君
坂田 道太君 杉田 一郎君
廣川 弘禪君 本多 花子君
森田 豊壽君 八重樫利康君
神戶 眞君 若米地義三君
保利 茂君 堀川 恭平君
吉澤仁太郎君 平野市太郎君
金子益太郎君 細田 綱吉君
北 政清君 田中 健吉君
的場 石齋門君 米倉 龍也君
山本 武夫君 井上東治郎君
山本 品吉君 井出一太郎君
野本 品吉君 高倉 輝君

八月十九日委員室森方夫君辭任ニ付其ノ補闕トシテ田中健吉君ヲ議長ニ於テ選定シタ
八月二十一日委員室賀義雄君辭任ニ付其ノ補闕トシテ高倉輝君ヲ議長ニ於テ選定シタ

出席國務大臣
農林大臣 和田 博雄君
出席政府委員
農林次官 楠見 義男君

第六類第六號 食糧緊急措置令(承諾を求める件)委員會會議錄 第十回 昭和二十一年八月二十一日

本日ノ會議ニ付シタ議案
食糧緊急措置令(承諾を求める件)

○成島委員長 開會致シマスハ、討論ノ前ニ委員長ガ二、三大臣ノ所見ヲ覽シタイト思フノデアリマス

先ヅ供出割當ヲ民主的方法デ行クト云フコトガ廣、言明セラレテ居リマスガ、其ノ具體的方策ニ付テ政府ノ考ヘヲ承リタイノデアリマス

トニ付キマシテハ、何レ省令等ニハツキリ規定致ス積リデアリマス、私ガ今述ベマシヤウナ構成ナリ何ナリハ、今度ノ麥デアリマスモカ馬鈴薯ノ供出ニ付キマシテハ、其ノ趣旨ヲハツキリト通達シ地方長官ニ出シテ居ル次第デゴザイマス

ソレカラ供出ノ割當ニ當リマシテハ、是ハ耕作者ノ再生産ニ必要ナ自家用保有量ト云フモノヲ確保スル、斯ウ云フ建前デ進ンデ居ルノデアリマス

其ノ次ニハ早期ノ供出ニ付キマシテ、例ヘバ早場米ノ供出、其ノ他甘藷等ニ付キマシテモ、早期ノ供出ニ付キマシテハ、早期ノ出荷ノ獎勵金デアリマス、其ノ他割當以上ノ超過供出ニ付キマシテハ、ソレニ對スル獎勵金ト云ツタヤウナモノモ考ヘテ居ル次第デアリマス

以上ノ四點ハ供出ノ民主化ニ於キマスル大キナ線デアリマス、其ノ外ニ供出ノ民主化ト云フコトニ付キマシテハ、以上ノ大キナ線ニ沿ヒマシテ、ソレノ細目ニ付キマシテハ、只今議院内ニ於テ皆サン方密ツテ構成サレテ居リマス、食糧對策委員會ニ於テキマシテ御審議、御檢討ヲ願フテ居ル次第デゴザイマス

○成島委員長 ソレカラ農産物ノ價格ガ、其ノ生産品價ヒマシテ、他ノ物價ト均衡ヲ保ツヤウニ是正サレコトニ付テ、政府ノ考ヘハドウデアリマス、併シ農産物ノ價格ヲ上ゲタ爲ニ、今主食ノ價格ヲ擧ゲタ爲ニ五百圓生活ヲ脅威スルヤウナコトガアツテハ困ル、其ノ點ニ對スル政府ノ御意見ヲ

承リタイト思ヒマス
○和田國務大臣 委員長ノ御質問並ニソレニ含マレテ居リマスル御意見ニ付テハ、私共トシテハ全く同感デアリマシテ、サウ云フ線ニ沿ヒマシテ、實ハ農林省トシマシテハ、既ニ或ル程度ノ原案ヲ安定本部ノ方ニ持ツテ行ツテ居ルノデアリマシテ、ソレヲ出來ルダケ早ク、八月一パイニ決メテ實ヒマスヤウニ只今努力ヲ致シテ居リマス、ソレカラ經濟安定本部ニ於キマシテモ、實ハ今日ノ午後カラモ行キマシテ御相談申上ゲルノデアリマシテ、非常ニ急イデヤツテ居ル次第デゴザイマス、只今申上ゲマシタヤウニ、生産者側ノ生産費、ソレカラ消費者側ノ色々ナ生活ノ關係、又一般物價水準ノ問題等、可ナリ複雑ナ問題ガ伏在致シテ居ルノデゴザイマスガ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ時期ヲ爭フ問題デゴザイマス、又一面カラ言ヒマシテ、日本ノ將來ノ物價體系ニ關係ガアリマス、急イデ只今審議致シテ居ル次第デゴザイマス、左様ニ御承諾願ヒマス

○成島委員長 モウ一點、現在ノ食糧事情ガ總テノ産業ヲ阻礙シテ居ルノデアリマス、殊ニ本年ハ作柄モ良好ト云フヤウニ豫想サレノデアリマス、デスカラ來ル新米穀年度カラハ消費者ノ購買等ガナイヤウニシタイト思フノデアリマスガ、ソレニ對スル政府ノ考ヘヲ御伺ヒ致シマス

○和田國務大臣 仰セノ如ク、食糧事情ガ安定シマシテ、消費者ガ購買等ヲシナクテモ宜イヤウニナリマスルコトハ、是ハ凡ユル點カラ言ヒマシテ、「インフレーション」ノ防止ノ點カラ言ヒマシテモ、又産業ノ再建ノ點カラ言ヒマシテモ、基本的ナ問題デゴザイマス、我々トシテ致シマシテハ、消費者ノ配給事情ニ付キマシテハ、是非増配致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、是ハ出來ルダケ努力致シテ、是非實現致シタイト考ヘテ居リマス

○叶委員長 只今ノ問題ニ關聯シテ只今主食ノ配給ヲ増配スル意圖ガアルト云フ風ニ和田農林大臣ハ言ハレタノデアリマスガ、總テノ生産ノ再開モ、現在ノ社會狀況ノ不安モ、三合配給ノ實現ヲ待望シテ居ルノデアリマスガ、ソレニ對シテ具體的ニ、農林當局ハ作柄デアルトカ、或ハ進駐軍ヨリ提拱サレテ居リマス所ノ食糧デアリマスルトカ、色々ナ點カラ綜合サレマシテ、ドノ點マデノ準備ヲナサツテ居ルカ、一ツ點キタイノデアリマス、度々農林當局ノ意見トシテ、主食ノ増配ト云フコトヲ言ハレテ居リマスガ、此ノ際其ノ點ヲ再質問シテ、ハツキリシタコトヲ一寸聽カセテ實ヒタイ、如何ナル準備ヲ農林當局ハ持ツテ居ラレるか

○和田國務大臣 ソレハ私ガ豫算總會ニ於テ、社會黨ノ井上代議士ノ御質問ニ對シテ御答ヘ致シマシタヤウニ、進駐軍ノ關係ガアリマス、具體的ナ數字ハ申上ゲラレナイノデアリマス、併シ我々トシマシテハ萬般ノ準備ヲ整ヘテ居リマシテ、關係方面トノ折衝ガ付キ次第、早クサウ云フ事柄ヲ一般ノ國民ニモ知ラセタイ、斯ウ思ツテ居リ

マス、併シ現在ノ所ハ私ハ數字ヲ申上
グラレマセヌカラ、ドウカ御諒承願ヒ
マス

○成島委員長 是ヨリ食糧緊急措置令
ヲ議題トシテ討論ニ入りマス、討論ハ
通告順ニ依ツテ之ヲ許シマス、坂本
實君

○坂本委員 昨ハ日本自由黨ヲ代表致
シマシテ若干意見ヲ申述ベテ、討論
ニ代ヘタリト存ジマス

緊迫セル食糧問題ノ解決ガ、現下凡
ニル經濟政策ノ基礎ヲナシ、且ツ之ニ
先行スベキ緊急問題ナルコトハ、今更
論ヲ俟ザル所デアリマシテ、萬般ノ
施策ガ此ノ一點ニ集中サレ、而モ此ノ
遂行ニ當ツテハ、戰時中ニ見タルガ如
キ獨善的、官治統制ヲ廢シ、飽マデ自
主的且ツ民生的ナル方法ニ依ツテ行ハ
ルベキモノデアルト信ズルノデアリマ
ス、況テ強權變動ノ如キハ、却テ生産
意欲ヲ阻害スル虞ガアリ、其ノ實際的
效果ヲ得ルコトハ至難デアルト存ズル
ノデアリマシテ、其ノ運用宜シキヲ得
ザル時ハ、寧ロ有害無益デアルト申上
ゲテモ過言デナイト存ズルノデアリ
マス

只今議題トナツテ居リマス食糧緊急
措置令ハ、供出主要食糧ニ關スル事
項、生鮮食糧品ノ統制ニ關スル事項、
所謂國產人口ノ處罰ニ關スル事項、並
ニ振動防止ニ關スル事項ヲ主要ナル内
容トスルモノデアリマスガ、先般來本
委員會ニ於テ、各委員諸氏ヨリ御指摘
ニ相成リマシタ諸點ニハ、相當強硬ナ
ル御異論ガアツタノデアリマス、政府
ノ施策ソレ自體ガ兎角徹底ヲ缺クノ憾
ミガアリ、周到ナル用意ト、仔細ノ注
意ガ拂ハレテ居ナレバナラナイ旨デ

アルノニ、政府自ラ進ンデ打ツベキ手
ヲ打タズ、國民ヲシテ己レノ非ヲ悟ラ
シメ、納得セシメ得ル體制ノ整備ヲ十
分デアル點ハ、正ニ片手落ナル政治デ
アリ、凡ソ非民主的ナ惡法デアルト非
難サレル所以デアリマシテ、政府ノ猛
省ヲ要請スルコト切ナルモノデアリマ
ス、元來政府ガ食糧供出不振ノ根本的
ナル原因ヲ、個々ノ適當ナ施策ヲ樹立
スルコトナク、徒ラ一切ノ責任ヲ

農村ニ轉嫁セントスルガ如キ態度ハ、
官僚的色彩ガ最も濃厚ナルコトヲ如實
ニ示シタモノトシテ、指彈サレテ居ル
ノデアリマス、即チ生産統計ヲ正確ニ
測ミ得ナイ爲ニ、不公平ナ割當ガ間々
行ハレテ居ルコト、農村ニ於ケル食糧
引出シノ經濟的裏付けケタル肥料、農
機具、生活必需品等ノ供給ガ依然ト
シテ不圓滑ナルコト、供出主要食糧ノ
價格ガ、一般物價ト均衡ニ於テ全ク
取レテ居ナイコト等デアリマス、實ニ
供出制度ノ統制制度ガ始マツテカラ、

只ノ一度デモ肥料ガ適當ナル時期ニ必
要量——是ハ假令十分デナイト致シマ
シテモ、最少限度デ辛抱スルト致シマ
シテモ、一向ニ間ニ合ハズ、而モ適正
ト思ハレル價格デ配給サレタコトモナ
イノデアリマス、更ニ又供出割當ガ適
切ナル時期ニ行ハレタコトモナイノデ
アリマシテ、其ノ買取價格モ亦洵ニ無
理ナモノデアリマス、是等ハ政府ガ國
民ノ信頼ヲ墜ギ得ナイ大キ原因デア
ル、政府ハ速カニ是等ノ不合理ヲ正
シ、誠意ト熱情ヲ傾ケテ、萬全ノ措置
ヲ講ゼラレシコトヲ切望シテ已マナイ
モノデアリマス

翻ツテ我が國ノ食糧事情ニ想ヒテ致
シマス時、我々ハ今直面シテ居リマス
ル食糧危機突破ノ大事ヲ冷静ニ考ヘマ
ス場合ニ、現ニ聯合軍側ノ絶大ナル投
助ヲ蒙ルコトニ依ツテ、辛ウジテ此
ノ難關ヲ打開ガ出來、日本人ノ多クハ
今聯合軍ノ厚意アル食糧ニ依ツテ、初
メテ其ノ生ヲ全ウシテ居ル實情デゴザ
イマス、全國國民ハ、少クモ此ノコト
ニ關シテハ感謝ノ念ヲ持タナイ者ハ一
人モ居リマスマイ、此ノ際我々ハ靜カ
ニ反省スル必要ガアリ、官民相倚リ相
扶ケテ、眞劍ニ自力ノ限リヲ盡スコト
ニ依ツテ、初メテ感謝感恩ノ赤誠ガ披
瀝サレ得ルモノト信ズルノデアリマ
ス、此ノ意味ニ於テキマシテ、政府モ國
民モ眞ニ協力一致最善ヲ盡シテこそ、
初メテ誠意ガ通ズルノデアル、敗レタ
リトハ言ヘ我々ノ眞ニ深く猛省シナケ
レバナラナイ所デアルト存ジマス、斯
カル觀點カラ致シマシテ、一步退イテ
考ヘマス時、假令民主的ニ納得供出ガ
行ハレタ場合デモ、供出制度ノ存續ス
ル限リ、一町村内ニ於テ、又ハ一部落
内ニ於テ、眞面目ナ農民ヲ消費者ノ眼
カラ見テ、農民のナ資務ヲ果サナイ農
家ノ存在ヲ豫測シ得ルノデアリマシ
テ、是等惡德農家ニ對シテハ、法ニ根
據ヲ持ツ最後の制裁ノ必要ハ、必ズシ
モ無用ト斷ズルコトハ早計トモ考ヘラ
レ、是非善惡ヲ究明シ、供出ノ實效ヲ
舉ゲルコトヲ第一義ト在ズルノデアリ
マス、斯カル見地ヨリ致シマシテ、曩
ニ、我が黨ニ於テキマシテハ慎重ナル檢
討ノ結果、本案ニ對スル我が黨ノ態度
ヲ決定スル一ツノ成案ヲ得タノデアリ
マシテ、此ノ場合供出制度實施上萬已
ムヲ得ザルモノト考ヘ、次ノ如キ附帶
條件ヲ附シテ本案ニ承諾ヲ與ヘント致
シタノデアリマス、今茲ニ御參考マデ
ニ朗讀致シマス

世界列國ノ食糧事情、特ニ我が國ノ

緊迫セル食糧危機ニ鑑ミ、食糧緊急措
置令ヲ萬已ムヲ得ザル處置ト認ムル
モ、左記必要條件ヲ並行スルニアラザ
レバ農民ヲシテ過酷虐政ノ嘆ヲ發セシ
メ、生産意欲ヲ阻害スル虞アルニ依
リ、政府當局ノ猛省ヲ促シ、是ガ即時
實行ヲ要求スルコト共ニ、供出ノ徹底的
民主化ヲ講ズルコトヲ條件トシ本案ヲ
承認スルモノナリ

一 市町村食糧調整委員會又ハ都道
府縣食糧委員會ガ申請シタル場合
ノ外強權ヲ發動セザルコト
二 自家保有公定量ハ生産者ニ確保
セシムルコト
三 米、麥等主要食糧品ノ價額ヲ諸
物價ト均衡ヲ保シ得ルヤウ、八月
中ニ改訂スルコト

四 農村主要必需品物資ハ政府ニ於テ
責任ヲ以テ其ノ生産配給ヲ確保ス
ルコト
以上

而シテ我が黨ハ、此ノ方針ニ從ツテ、
銳意政府ヲ督勵シ、政府モ亦同感ノ意
ヲ表セラレ、是ガ實現ヲ約セラレタ
デアリマシテ、我が黨提案ニナル附帶
條件ノ第一點ハ、直チニ本令施行規則
中ノ一部ヲ改正シテ是ガ法文化スル御
意思ノアルコトヲ明カニサレタノデア
リマス、即チ政府ノ改正案ハ次ノヤウ
ナモノト承知致シテ居リマス、

農林省令第三號
食糧緊急措置令施行規則中ノ一部を
次のやうに改正する。
昭和二十一年八月 日
農林大臣 和田 博雄
第一條ノ二 令第一條ノ規定ニ依ル
主要食糧ノ收用ハ市町村食糧調整
委員會又ハ都道府縣食糧委員會ガ其
ノ議決ニ依リ申請ヲ爲シタル場合ニ

之ヲ行フモノトス
附 則
この省令ハ、公布の日から、これを
施行する。

而カモ同時ニ、市町村食糧調整委員
會ノ構成ニ付テハ、飽クマデモ耕作
ヲ中心トスル民主的組織トスベキ旨、
既ニ地方長官宛通牒済ミデアリ、何レ
法令上ニモ明文化サレル御意思アル
コトヲ承ツタノデアリマシテ、何レモ
洵ニ我が意ヲ得タモノト存ズルノデア
リマス

〔委員長退席、須永委員長代理著
席〕
更ニ又第二點、第三點、第四點ノ三
項目ニ付テハ、先刻委員長ノ總括的質
問ニ對シテ、農相ヨリ確乎タル信念ヲ
披瀝セラレマシテ、是ガ實施ヲ誓約致
サレマシタノデ、政府ノ御所存ハ略々
諒承スルコトガ出來タノデアリマス、
唯此ノ場合農民ノ最も關心ヲ持ツテ居
リマス重大ナ問題ニ付テ一言附加ヘテ
置キタイト思ヒマス、ソレハ米價ノ決
定ニ付テデアリマス、米價ノ改訂ニ付
テハ目下經濟安定本部ニ於テ考究中デ
アツテ、八月中ニハ決定サレルヤウ銳
意促進サレテ居ルコトデアリマスガ、
之ニ對シマシテハ政府側ノ御見解
ガ、我々ノ見解ニ相當大巾ナ喰ヒ違ヒ
ガアルト云フコトヲ政府ノ爲ニ申上ゲ
置キタイノデアリマス、政府ハ飽クマ
デ農家ノ實生活ニ觸レ、農業經營ノ苦
心ヲ十分汲ミ取ラレ、出來得ル限り他
ノ諸物價ト均衡ヲ保テ得ルヤウ、深
イ理解ト溫カキ同情ヲ以テ、尙ホ此ノ
上ノ御檢討ヲ切望シテ已ミマセヌ、例
ヘバ算定ノ基礎トナル農民勞銀ノ過小
評價ヤ、肥料、農機具其ノ他生活必需
物資ノ入手ハ必ズシモ正式「ルート」ノ

之ヲ行フモノトス
附 則
この省令ハ、公布の日から、これを
施行する。

而カモ同時ニ、市町村食糧調整委員
會ノ構成ニ付テハ、飽クマデモ耕作
ヲ中心トスル民主的組織トスベキ旨、
既ニ地方長官宛通牒済ミデアリ、何レ
法令上ニモ明文化サレル御意思アル
コトヲ承ツタノデアリマシテ、何レモ
洵ニ我が意ヲ得タモノト存ズルノデア
リマス

〔委員長退席、須永委員長代理著
席〕
更ニ又第二點、第三點、第四點ノ三
項目ニ付テハ、先刻委員長ノ總括的質
問ニ對シテ、農相ヨリ確乎タル信念ヲ
披瀝セラレマシテ、是ガ實施ヲ誓約致
サレマシタノデ、政府ノ御所存ハ略々
諒承スルコトガ出來タノデアリマス、
唯此ノ場合農民ノ最も關心ヲ持ツテ居
リマス重大ナ問題ニ付テ一言附加ヘテ
置キタイト思ヒマス、ソレハ米價ノ決
定ニ付テデアリマス、米價ノ改訂ニ付
テハ目下經濟安定本部ニ於テ考究中デ
アツテ、八月中ニハ決定サレルヤウ銳
意促進サレテ居ルコトデアリマスガ、
之ニ對シマシテハ政府側ノ御見解
ガ、我々ノ見解ニ相當大巾ナ喰ヒ違ヒ
ガアルト云フコトヲ政府ノ爲ニ申上ゲ
置キタイノデアリマス、政府ハ飽クマ
デ農家ノ實生活ニ觸レ、農業經營ノ苦
心ヲ十分汲ミ取ラレ、出來得ル限り他
ノ諸物價ト均衡ヲ保テ得ルヤウ、深
イ理解ト溫カキ同情ヲ以テ、尙ホ此ノ
上ノ御檢討ヲ切望シテ已ミマセヌ、例
ヘバ算定ノ基礎トナル農民勞銀ノ過小
評價ヤ、肥料、農機具其ノ他生活必需
物資ノ入手ハ必ズシモ正式「ルート」ノ

之ヲ行フモノトス
附 則
この省令ハ、公布の日から、これを
施行する。

ミニ依存スベカラザル實情ヲ併セ考慮セラレンコトヲ望ミマス、更ニ又政府ノ聲明ハ、往々ニシテ空手形ニナリ、一向ニ其ノ實情ハズ、國民ノ不信ハ其ノ項點ニ達シテ居リマス、計畫サレタル配給物資ハ、必ラズ時ト所トノ按配ヲ得テ、確實ニ實行セラレタク、報價物資ノ如キモ必ラズ不渡リニナラナイヤウ、信實必罰ノ實ヲ擧ゲ、嚴格ニ實踐行セラレンコトヲ望ムモノデアリマス、以上要スルニ政府ハ其ノ政策ノ遂行ニ忠實デアリ、本案運籌其ノモノノ適否如何ガ、此ノ法案ノ效果ヲ擧ゲルニ重大ナル關係ガアリマス、本案成立後ニ於テハ、政府ハ特ニ此ノ點ニ深甚ナル注意ヲ拂ハレ、萬遺憾ナキヲ期セラレンコトヲ重キテ此ノ機會ニ要緊致シマシテ、原案ニ承諾ヲ與フベキモノト議決スルコトニ贊意ヲ表スル次第デアリマス

○須永委員長代理 坂本君ノ御意見ハ原案ニ承諾ヲ與フベキモノトノ御意見デアリマス、次ニ馬越見君ニ發言ヲ許シマス

○馬越見委員 私人本案ニ承諾ヲ與ヘントスル日本進歩黨ノ趣旨ヲ簡單ニ申述ベテ見タイト思フデアリマス、本令ヲ發布致シマシタ當時ニ於ケル窮迫セル食糧事情ノ下ニアリマシテハ、斯クノ如キ非常ノ措置ヲ發令致シマシタコトハ、洵ニ已ムヲ得ザル措置ト存ズルノデアリマス、唯問題トナリマスルノハ、農家ノ粒々辛苦ノ結晶タル米麥ナド主要食糧ノ價格ノ不適正ト、供出割當ノ方法ガ非民主的ニシテ、官僚獨善ノ不正ナルモノデアッタコトト、此ノ不公正割當ニ基キ供出ヲ強要シタル結果發動シタル所謂強權發動ニ對シテ、輩々タル非難ガアツタデアリマス、然ルニ過般和田農林大臣ノ御説明ニ依リマスレバ、食糧緊急措置令施行規則第一條第二項ニ、是等不備ナル點ヲ是正明文化シ、其ノ供出數量ハ民主的ニ組織セラレタル市町村食糧調整委員會及郡道府縣食糧委員會ニ於テ、實情ニ即シタル割當ヲナシ、且ツ此ノ公正ナル割當ヲ實行セザル惡質農家ニ對シテサヘモ、前記ソレハノ委員會ノ申請ニ基キ、其ノ強權ヲ發動サレルコトニ相成リマスレバ、最早本令ニ對スル非難スベキ點ノ殆ンド消除去サレタモノト言ハナケレバナリマセヌ、唯殘ル問題ハ、政府ノ供出割當ヲ實情ニ即シタル公正ナル決定ヲナスコトト、是等主要食糧ノ供出價格ヲ適正ニ決定スルコトデアリデアリマス、仍テ政府ハ迅速ニ是ガ實現ニ對シテ、最大ノ努力ヲ致スベキコトヲ希望條件ト致シマシテ、本案ヲ承諾致ス次第デアリマス

○須永委員長代理 馬越見君ノ御意見モ本案ニ承諾ヲ與フベシトノ御意見デアリマス、次ニ細野三千雄君ノ發言ヲ許シマス

○細野委員 私人日本社會黨ヲ代表シマシテ、本勅令ニ對スル社會黨ノ態度ヲ表明シタイト思ヒマス

〔須永委員長代理退席、坂本委員長代理著席〕

本勅令ハ一條カラ十六條マデニナツテ居リマスガ、其ノ中第二條カラ第八條マデハ法律ノ效果トカ、手續規定デアリマシテ、可モノシ不可モノシ、第九條ハ所謂生鮮食糧ノ統制ノ規定デアリマシテ、是モ統制ト云フコトヲ認メマス、我々トシマシテハ、此ノ限リニ於キマシテハ異論ガアリマセヌ、第十條ハ團體人口或ハ食糧ノ詐取、詐欺的ナ方法ニ依リ配給ヲ防止シヨウトスルノデアリマシテ、是モ贊成デアリマス、第十一條ノ供出ヲセザルヤウニ煽動スル者ヲ處罰スル規定、是ハ煽動ト云フ文字ニ付テ我々ハ不滿ヲ持ツテ居リマス、曾テ治安警察法第十七條同盟罷業ノ誘惑、煽動、此ノ煽動ト云フ文字ガ非常ニ濫用サレタ事實ガアリマシテ、斯様ナ不明確ナ言葉ハ我々トシテハ不滿ヲ持ツテ居リマスガ、是ハ字句ノコトデアリマス、結局本勅令ニ付キマシテ一番問題ニシマスルハ、第一條ノ強權發動ノ問題デアリマス、此ノ強權發動ニ付キマシテ、此ノ勅令ノ出マシタ二月十七日當時、日本ノ國內ノ食糧ノ供出狀況ガ惡カッタコトハ我我ハ之ヲ認メマス、併シ此ノ供出ガ振ハナカッタ原因ニ至リマシテハ、本委員會ニ於テ、各委員カラ指摘サレマシタ原因ト云フモノヲ速記録ニ依ツテ調べテ見マス、凡ソ十六、七ノ原因ガ學デラレノデアリマス、ソレハ一ツ是非政府當局ニ於キマシテモ熟讀シテ戴キタイト思フデアリマスガ、トモアレ其ノ原因ノ中ノ大部分ハ、要スルニ政治ノ貧困ト云フコトニ原因シテ居ルデアリマス、昨年ノ凶作デアアルトガ沮喪シタト云フヤウナ、特殊ノ原因ハ除キマシテ、十六、七ノ原因ノ大部分ト云フモノハ、政治ノ貧困ト云フコトニアリノデアリマス、此ノ政治ノ貧困ト云フコトハ又政治ニ依ツテ換同シナケレバナラヌ、然ルニ前内閣ハ當時偶々議會ガマダ成立シテ居ナカッタノヲ、我々カラ言フナラバ之ヲ勿怪ノ幸ヒトシテ、斯ウ云フ緊急措置令ノ形ニ依ツテ本令ヲ出サレタ、當時マダ打ツベキ手が澤山アツタニ拘ラズ、ソ

レヲ打タズニ、自分ノ政治ノ貧困ヲ糊ニ上ゲテ、斯ウ云フ最後ノ手段デアアル強權發動ニイナリ出ラレタト云フコトニ對シテ、我々ハ非常ナ不滿ヲ持ツテ居リノデアリマス、併シナガラ彼ノ宮内閣時代ノアノ納得付クノ供出トカ、或ハ同胞愛ニ依リ供出ト云フモノガ、結局ニ於テ供出制度ノ縮括リハルニハ役ニ立タヌ、何等カノ縮括リハ必要ダ、サウ云フ意味ニ於キマシテ、強權ト云フコトハ決シテ好マシイコトデアリマセヌ、斯ウ云フコトハ一日モ早クナクシタイノデアリマスガ、兎ニ角自主的ノ供出ト云フテモ、供出制度ノアル限り縮括リガ付カヌトイカスト云フ意味ニ於テ、已ムヲ得ズ

〔坂本委員長代理退席、委員長著席〕

一ツノ制度トシテ此ノ採用ト云フコトモ已ムヲ得スカト思フデアリマス、農村ニ於キマシテ米ガ有ルカ無イルカト云フコトガ疑ハ問題ニナリマス、私ハ茲デソナコトノ論議ハシマセヌ、唯事實トシマシテ、五月頃ニ秋田縣デハ農民自身ガ食ヲ米ガナクテ、數人ノ農民ガ農業倉庫ヲ襲撃シテ、倉ヲ打ち壞シ米ヲ持出シタト云フ事實ガアリマス、是ハ明カニ其ノ農民ニハ米ガナカッタト云フコトノ證據デアリマス、併シ都市ノ人ニ言ハセルト、消費人ノ人ハ往々ニシテ、農村ニ行ケバ、衣類ヲ出セバ、品物ヲ出セバドン、物々交換デ米ヲ出ス百姓モアルンデヤナイカ、ア、云フ農民ニ對シテ何故強權ヲ發動セヌノカト云フ風ナ御叱リヲ我々ハ受ケルコトガアル、ソコナンデアリマス、一方ニ於キマシテハ食ヲ米サヘモナイ農民ガアル、片一方ニ於テハマダ手持チノ米ヲ持ツテ居ル百姓ガアル、而モ其ノ手持チノ米餘アル米ニ

對シテハ、其ノ農民ガ既ニ供出ヲ完遂シテ居ルト云フ理由ニ依ツテ、其ノ米ニハ指一本指サセナイト云フノガ現在ノ供出制度デアリマス、現在ノ供出制度ニハ斯様ナ不合理性ガアルノデアリマス、デアリマスカラ、我々ニハ強權ハ好マシナイケレドモ、已ムヲ得ヌトシテ之ヲ認メル、サウシテ斯様ナ餘裕ノアル手持チ米ニ對シテ、本當ニ國家ノ力ヲ以テ、之ヲ正式ノ「ルート」ニ出スヤウニシタイノデアリマス、要スルニ斯様ニ供出ノ不合理ト云フコトハ、結局供出制度ガ民主的デナイト云フコトニ歸著スルヤウニ思フノデアリマス、隨ヒマシテ我々ガ日本社會黨トシマシテハ、此ノ供出割當制度ト云フモノヲ徹底的ニ民主化スルコト云フコトヲ、從來モ主張シテ來タデアリマスガ、唯ソレニ對シテ政府當局ニ於テモ、之ヲ民主化スルコト云フコトヲ公約セラレノデアリマスガ、我々トシマシテハ唯單ナル政府當局ノ言明ダケハ餘リニ農民ハ從來ノ政府ニ騙サレ過ギテ來テ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ之ヲ明カニ法規ノ上ニ明文化シテ實ハナクテハナラヌ、斯ウ云フ建前ニ於キマシテ今マデ此ノ勅令ニ對シテ來タデアリマス、然ルニ其ノ後政府當局ハ、豫算委員會ニ於ケル我々ガ黨ノ代表者ノ質問ニ對シテ、供出制度ノ民主化ニ付テ之ヲ明文化スルコト云フコトヲ言明セラレ、尙ホ既ニ法文ノ體ヲ爲シタ食糧緊急措置令施行規則ノ改正案ヲ作ラレテ居ルノデアリマス、トシマスレバ、我々トシマシテハマダ非常ニ不満足デアリマス、斯ウ云ツタ素ツ氣ナイタツタ一箇條ノ規定デハ甚ダ不満足デアリマスガ、尙ホ其ノ後委員會ノ構成ニ付キマシテモ、大臣自ラ此ノ委員會ニ於

キマシテ色々言明セラレル所ガアリマ
スノデ、タツタ此ノ一箇條ノ外ニ尙ホ
此ノ委員會ノ構成ナリ、運営ナリ、機
能ナリニ付キマシテ、言明通りノ注文
ガ出來ルモノト信ジマス、ソコデ我々
トシキシテモ、此ノ勅令ノ尙ホ不滿ノ
點ニ付キマシテハ、三ノ註文ガアリ
マスガ、一應其ノ註文ノ條件ニ致シマ
シテ、此ノ勅令ヲ承認シヨウト云フコ
トニ昨日態度ヲ決メタノデアリマス、
條件トシマシテハ、供出ヲ全體的ニ好
クル爲ニハ、此ノ勅令ノ改正ダケデ
ハ勿論不十分デアリマセウ、或ハ農林
省關係以外ノ大藏省トカ、商工省關係
詰リ政府買上價格ノ問題トカ、或ハ肥
料ノ問題トカ、政府全般ノ色々ナ政策
ニ關聯シテ來マスガ、此ノ供出ノ問題
ヲ限局致シマシテ、四ツノ條件ヲ御註
文申上ゲマス

第一、農民個人ニ對スル收用ハ民主
的ニ選バレタル市町村食糧調整委員
會ノ議決ニ依ラザレバナスベカラザ
ルコト

第二、農家ニハ公定保有食糧ヲ確保
セシムルコト

第三、供出ノ數量ハ科學的ノ調査ニ
依リ正確ヲ期シ民主的ニ調整ヲ決定
シ、異議アル者ノ訂正申立權ヲ認メ
ルコト

第四、主要食糧買上價格ハ再生産ニ
必要ナル經費ニ依リ算定スベキコト
是等ノ内ノ例ヘバ科學的ノ調査ト
ハ、或ハ價格ノ點ナドニ付キマシテ
ハ、既ニ現在ノ食糧管理法ナリ、或ハ
食糧管理法ニ施行規則ナリニ據ルベキ
法的ノ根據モアルノデアリマス、ソレ
ガ今マデ活用サレテ居ラナカタ、法
文ソレ自體ガ空文ニナツテ居ツタ、活
キテ居ル法律デアリマスカラ、之ヲ一

ツ十分ニ達成ヲ願フツテ、既ニ此ノ或ル
部分ハ實行セラレテ居ル部分モアルヤ
ウデアリマスガ、是非トモ一ツ御實行
下サルヤウニ御願ヒ致シマシテ、此ノ
條件附ニ依リマシテ此ノ勅令ヲ承認ス
ルト云フ社會黨ノ説明ニ代ヘル次第デ
アリマス

○成島委員長 的場合右衛門君
○北(政)委員 一寸議事進行ニ付テ
通告順ト云フコトデアルガ、ナゼ其ノ
オ約束ヲ守ラナイカ、的場合ヨリ先
ニ致シテ居リマス

○成島委員長 アナタノ通告ハアリマ
セウ、

○北(政)委員 イヤ、通告シテアリ
マス

○成島委員長 的場合ニ發言ヲ許シマ
シタ

○的場合委員 私ハ協同民主黨ヲ代表致
シマシテ、私共協同民主黨ノ此ノ法案
ニ對スル考ヘ方ヲ申上ゲタイ、此ノ法
案ハ甚ダ好マシカラザル法律案デア
ル云フコトデ、僅ニ私ハ農林當局ノ御
意見モ御伺ヒ致シタノデアリマスガ、
其ノ後段々説明ヲ御聽キシテ、或ル點
私共ノ納得スルコトノ出來ル點モゴザ
イマシタシ、更ニ又諒解ノ出來ナイ部
分モアルヤウニ考ヘルノデアリマスケ
レドモ、以下私ノ申上ゲマスヤウナコ
トヲ條件ニシテ、此ノ法案ヲ承認ヲ致
シタイノデアリマス

第一、農産物ノ價格ヲ生産費ヲ價ヒ
外ノ物價ト均衡ヲ保チ得ルヤウニ適當
ニ是正スルコトヲ條件トスルノデアリ
マス、農産物ノ價格ハ他ノ物價ニ比較
シマシテ著シク低廉デ、常ニ其ノ均衡
ヲ失シ、生産費ヲ價ヘナイ狀態ニ置カ
レテ居ルノデアリマス、生産費ヲ基礎
トシテ其ノ外ノ物價ト均衡ヲ保ツ價格

ニ是正シナケレバナラナイト考ヘルノ
デアリマス、即チ現在ノ經濟情勢下ニ
於テ、他ノ物價ト均衡ヲ保チ、生産費
ヲ價ヒ得ル米價ハ千二百圓以上デナケ
レバナラヌノデアリマス、全國農業會
ガ多年委託セル、篤農家デアアル調査農
家ニ付テ調査致シマシタ生産費ハ千二
百五十圓トナツテ居リマス、一般農家
ノ生産費ハ是レ以上デアリ、生産ノ上
ラナイ地方ニ於テハ千五百圓程度トナ
ルコトハ明カデアリマス、然ルニ主貨
ノ價格ヲ引上グルコトハ惡性「インフ
レーション」助長スルモノデアルトシテ、農
家ノ犧牲ノ上ニ於テ之ヲ防ガントスル
態度ハ、改メラレナケレバナラナイト
思フノデアリマス、國民全體ノ負擔ト
協力ニ依ツテ、之ヲ防止スルノ策ヲ執
ルベキデアルト思フノデアリマス、故
ニ米價ヲ千二百圓以上トシ、之ニ準ジ
テ芋類等ノ價格モ決定スベキモノデア
ルト思フノデアリマス

第二、供出調整ヲ適正ニスルコトデ
アリマス、調整方法ヲ民主的ノ方法ニ
シ、自治的方法ニ依ツテ、農家ノ一人
一人ガ納得ノ行ク程度ニシ、而モ公平
ナル調整ヲシナケレバナラナイト云フ
コトデアリマス、從來ノ調整ハ物ガア
ルカナイカト云フコトニ關係ナク、國
全體ノ需給關係ニ依ツテ机上ノ上デ各縣
ニ調整ヲサレ、縣ハ又是同一ノ方法
ニ依ツテ市町村ノ調整ヲシ、市町村デ
ハ縣ナリ國ナリノ調整數字下一致スル
ヤウニ、數字ヲ合セルヤウニ段別ニ應
ジテ各農家々々ハ調整ヲ致シテ來タノ
デアリマス、隨テ耕作段別ノ多イ農家
ハ比較的樂ニ供出ガ出來、經營面積ノ
狭小ナ農家ハ、收益ノ全部ヲ供出シテ
モ尙不足ラナイ狀態ノモノモアツタノ
デアリマス、地方毎ニ之ヲ考ヘマス

ト、或ル地方ハ極メテ樂ニ調整セラレ
ル、或ル地方ハ非常ニキツク、全部納
メデモ供出ガ完了シナイ、斯ウ云ツタ
ヤウナ不公平、不合理ナル調整ヲシテ
置イテ、強權ヲ發動スルガ如キハ洵ニ
無理デアルト思フノデアリマス、此ノ
調整ガ無理ニナリマス原因ハ色々アリ
マスケレドモ、此ノ調整ノ方法ガ民主
的デアリト云フコト、又調整ノ基礎ト
ナル收益ノ調査ガ不正確デアツタト云
フコト等デアルト思ヒマスガ、調整ノ
基礎トナル收益調査ニ於テモ、農業ヲ
知ラナイ検査員ヲ地方事務所ノ吏員ナ
ドニ依ツテ調査ヲサセ、收穫豫想ニ大
キナ距離ヲ來シ、調整ヲ不公平ナラシ
メタコトモ見逃セナイ事實デアリマ
ス、收穫ノ調査ハ農業技術員又ハ篤農
家等、作況ヲ見レバ直チニ收穫量ヲ正
確ニ豫測シ得ル者ヲシテ調査セシメ、
正確ナル基礎ノ上ニ公平ナル調整ガナ
サレナケレバナラヌト思フノデアリマ
ス、而シテ自家保有米ハ、許サレタ程
度ニ於テ之ヲ各農家ニ確保セシメ、今
マデノヤウニ自家保有米ハ全部供出サ
セテ置イテ、逆ニ還元配給ヲナスガ如
キコトノナイヤウニシテ戴キタイ、サ
ウスル爲ニハ公定保有量ヲ確保セシ
メ、納得ノ行クヤウニ、公平ニ調整ヲ
ナスベキデアルト云フノデアリマス

次ニ第三ノ點ハ、農村必需品ノ増
配及ビ配給ノ一元化ト云フコトデア
リマス、農業生産ノ必需品並ニ農村生
活必需品ハ、正常ノ價格ヲ以テ購入
スルコトハ常ニ不可能ナ狀態ニアリ、
非常ナ高値デ買フ、又ハ米ト交換セネ
バ買ヘナイ實情ニアルノデアリマス、
第一、鎌一本買フニ米ガナケレバ
買ヘナイ、醫者ニ行ツテモ米ヲ要求サ
レ、労働者ヲ雇フニ米ヲ要求サレ、

供出ヲ完全ニスレバ次ノ生産ハ不可能
デアルト云フ實情ニアルノデアリマ
ス、故ニ純眞ナル農家モ一部ノ米ヲ殘
シテ、農機具ノ代價トシナケレバナ
ライ、此ノ純眞ナル、眞面目ナル農民
ヲ惡德農家ト呼ブコトハ適當デナイ、
惡德農家ト呼ブ前ニ、惡德ナラザルヲ
得ヌヤウニシタ責任ヲ追究セネバナ
ラヌト思フノデアリマス、先ヅ農村必需
物資ヲ増産増配シテ、此ノ配給ヲ關ニ
流レヌヤウニ、農業團體ニ於テ一元
的ニ取扱ヒ、正常ナ價格ヲ以テ購入ガ
出來ルヤウニシテ戴キタイト云フコトデ
アリマス

第四、農産物以外ノ一般物資ニ付
テモ其ノ配給ヲ正確ニ統制シ、強權ヲ
發動サルベキモノデアルト思フノデア
リマス、農家ダケニ強權ヲ發動シテ、
肥料ヲ農機具ヤ衣料品ナドハ常ニ關市
ニ流レ行ク、是デハ片手落デアリマ
スカラ、是等ノ物資ニ付テモ、生産、
供出ニ對シテ強權ヲ發動サレ、正常ナ
「ルート」ニ依ツテ配給サレルヤウニ
セネバナラナイト思ヒマス

尙ホ強權發動ハ、市町村ノ食糧委員
會ノ申請ガアリマシタ場合ノ外發動シ
ナイト云フコトニシテ戴キタイ、以上
改ムベキコトハ進シテ改メ、又新タニ
實施スベキコトハ實施ヲサレテ農家ヲ
シテ政府ヲ信頼シ、安心シテ自發的ニ
國家ノ食糧危機ヲ救ハントスル態度ニ
出デシムベキモノデアルト思フノデア
リマス、故ニ私共協同民主黨ニ於テ
ハ、以上ノ五ツノ條件ヲ附シテ本法案
ヲ承認セントスルモノデアリマス、
以上

○成島委員長 山本武夫君
○山本委員 私ハ無所屬俱樂部ヲ代表
シテ申上グルノデアリマスガ、勿論政

府ノ唯ナラヌ御努力ニ對シテ、全面的ニ贊意ヲ表スルモノデアリマス、今度ノ措置令ニ對シテ無條件ニ承認ヲ與ヘントスルモノデアリマスガ、唯私ハ此ノ間國ノ歸リマシテ、來年ノ供出ニ付テ色々指導者層ノ人達ト懇談シテ參シタノデアリマス、其ノ席上、先ヅ一體來年ノ供出ナシカアルカラウカドウカト云フコトヲ異口同音ニ言ハレタノデアリマス、其ノ言葉ハ甚ダ分リニクイノデアリマスガ、ヤハリ同ジヤウナ供出方法デ行クノカドウカト云フコトデアリマシタ、昨年ノヤウナリ方デアツテハ、今日色々苦シイ結果トナツテ現ハレテ居リマスノデ、是ハ尋常一様ナコトデアリ出ルハ出來ナイ、政府ハ民主化スルト云フコトヲ言明サレテ居リマスシ、ソレニ對スル期待ハ勿論アリマスケレドモ、並大抵ノコトデアハ難カシイ、何トモ拔本塞源ノナコトヲヤツテ欲シト云フ聲ガ瀾漫シテ居ルノデアリマシテ、私ハソレニ對シテ非常ニ心配シテ居ルモノデゴザイマス、先程來自由黨、進歩黨カラ色々條件モゴザイマシタガ、靜カニ考ヘテ見マス

リマス、ドウカ一ツ誠意ヲ盡シテオヤリナサルヤウニ御願ヒシマス、簡單デアリマスガ、贊意ヲ表シマス

○成島委員長 井出一太郎君

○井出委員 私ハ新政會ヲ代表致シマシテ、本案ニ對シテ承諾ヲ與ヘルコトガ餘儀ナイモノデアアルト云フ意思ヲ表明致シタト存ズルノデアリマス、現在ノ食糧事情下ニアリマシテハ、食糧ノ國家管理ト云フコトガ餘儀ナイモノデアリ、又ソレヲ認メル以上、供出制度ト云フモノモ當然行ハレナケレバナラヌモノデアリ、供出制度ヲ行ヒマス以上、其ノ最後ノ括リト致シテ、強權發動ト云フ言葉ハ惡イノデアリマスガ、兎モ角強制力ニ依ツテ主要食糧ヲ收用スルト云フコトモ、是ハ已ムヲ得ナイ、斯ウ考ヘルノデアリマス、勿論是ハ本委員會數次ノ機會ヲ通ジテ色々指摘サレタ通りデアリマシテ、終戰後ニ於ケル國ノ政策ノ貧困、殆ド無策ニ近イ所ノ政策ノ缺陷ガ、大キナ力ヲナシテ居ルト云フコトモゴザイマス、隨テ無條件デ之ヲ發動スルト云フコトニ對シテハ「ブレイキ」ヲ掛ケナケレバナラヌト思ヒマス、併シ先程自由黨ノ方カラ四ツノ條件ガゴザイマシタシ、社會黨カラモヤハリ四ツノ條件ガ出タヤウニ承ツテ居リマス、是等ハ何レモ、左様ナ條件ガ必要デアルト私ハ考ヘルゾデゴザイマス、尙ホ先程ノ委員長ノ質問、之ニ對スル大臣ノ御答辯ニ於テモ、此ノ案ノ修正ノ方向ガ一應ハツキリ致シタ、斯ウ相成ツタ以上ハ、之ニ對シテ私共ハ承認ノ意ヲ表スルモノデゴザイマス、ト同時ニ、私コ、デニツバカリ希望ヲ申上グルコトヲ御許シ願ヒタイト思フノデアリマス

私モ農村ノ出身デアリ、農民ノ立場ヲ能ク理解致シテ居リマス、現在他ノ產業ガ全然生産開始ニ及ンデ居ラナイ時ニ、農家ダケハ孜々營々トシテ、今年ノ天候ノ加減モアリマシタラウケレドモ、秋ニハ製作ガ精進サレルト云フ非常ニ明るい面ガ現ハレテ參ツテ居リマス、斯ウ云フ農民ノ努力、而シテ又此ノ努力ガ酬イラレナイ不平等ト云フモノヲ、私ハ幾多聽カサレテ居ル、サウ云フコトガ先程來ノ色々ナ條件トナツテ現ハレタノモ能ク分リマス、私ハ農家ノ諸君ニ壓ハ言フコトデアリマスガ、兎モ角農家ノ諸君ハ、食糧ニ於ケル安定感ダケハ君達ハ持つテ居ルノデ、是ハ消費者ノ立場モ能ク考ヘテ欲シト云フコトヲ壓ハ申スノデアリマ

ス、消費者ノ立場ニ於テノ意見ハ、此ノ委員會ヲ通ジテ餘リ顯著デナカシタ、ドチラカト申スト、重農主義ノ傾向サヘモアツタト云フコトヲ私ハ指摘シタイノデアリマス、此ノ消費者ノ立場ニ於テ若干申上ゲテ見タイコトハ、先程大臣ノ言明ニモアリマシタ通り、近ク食糧事情ガ好轉スルナラバ増配モ考慮シテ居ル、斯ウ云フ御話モ承ツタノデアリマスガ、此ノ際モウ少シ具體的ニ、少クトモ二合三勺ト云フ配給量ハサウ遠クナク、可及的速カニ還元サシテ戴キタイ、固ヨリソレ以上ノ餘裕ガアルコトナラバ、更に増量スルコトヲ御願ヒシタイノデアリマスガ、政治ト云フモノハ國民ニ希望ヲ持タセル、熱々燃ヤサセル、斯ウ云フコトガ要諦デアリマシテ、曾テ「ヒトラ」ガ「オランダ」ヲ手ニ入レタ時ニ、一週間ノ節ノ煙草ヲ二ツ配給シテ見セタ、之ニ依ツテ國民ノ志氣ガ非常ニ鼓舞サレタ、私ハ「ヒトラ」ノ侵略ヲ決シテ潰ヘルノデアリマセヌガ、サウ

云フヤウナ意味ニ於テ、民ニ此ノ際希望ヲ持タセル、外ノコトハ兎モ角、何モ彼モ皆惡イ、通貨ノ膨脹ハ一千億ニモナラウシテ居ルガ、ドヤラ食糧ダケハ二合三勺ニナツタト云フコトニナレバ、非常ニ感激ヲ致シ、前途ニ希望ヲ持つヤウニナルト私ハ考ヘルノデアリマス、(二合三勺デハ感激セヌヨ)ト呼ブ者アリ、勿論一躍三合ニナルト云フコトハ、是ハ到底思ヒモ依ラヌコトデアル、戰々ハ聯合軍ノ管理下ニ置カレテ居ルト云フコトモ考ヘナケレバナラヌ所デアリマスガ、今申上ゲタヤウナ意味デ、一刻モ早ク之ヲ漸次増量スルト云フコトヲ特ニ強く申上ゲテ置キタイノデアリマス

マシテ、極メテ官僚的ナ措置デアリ、地主的ナ措置デアル、隨テ極メテ非科學的ナ結果ニナツテ居リマスカラシテ、農業問題ノ發展ノ爲ニモ、亦食糧問題ノ解決ノ爲ニモ、大キナ妨ゲトナルモノデアアルコトヲ指摘致シタイノデアリマス、此ノ措置令ハ、今度ノ議會ニ於キマシテ、勞働調整法ト並ンデ最も大キナ問題ヲ起シマシタ二ツノ代表的ナモノデアリマセウ、言フマデモナク、此ノ二ツノ法案、措置令ガ惡法デアル何ヨリノ證據デアリマス、眞ニ働ク人間ノ生活ヲ思ハズ、其ノ意思ヲ代表シナイカラ、斯ウ云フ大キナ問題ヲ起シタニ外ナリマセヌ、其ノ爲ニドウスレバ此ノ措置令ノ缺陷ヲ除クコトガ出來ルカト言ヒマス、申スマデモナク、是ハ眞ニ民主主義的ナ、働ク農民ノ組織ニ依ツテ解決スル以外ニ途ハアリマセヌ、度々働ク農民ノ立場ニ立チ、民主的ナ方法ニ依ツテト云フコトヲ當局ハ申サレマシタケレドモ、併シ實際ニ其ノ方法ト云フモノハ少シモ示サレテ居リマセヌ、譬ヘテ申シマス、昨午農地調整法ガ出マシテ、其ノ爲ニ全國ニ土地ノ取上ゲガ起リ、土地ヲ耕作テ居ラナイ地主ガ、土地ヲ取上ゲテ耕作農民ニナラウトル努力ガ全國ニ大キク現ハレマシタ、其ノ爲ニ努力サレタ農民ト地主トノ關係カラシテ、度々此處デモ述べラレタト思ヒマスガ、閣下小作並ニ請負小作ト云フ新シイ制度ガ日本ニ生マレテ居リマス、是ガ今日食糧ノ關ヲ生ミ出シテ居ル一番ノ貯水池デアリマス、土地ヲ取上ゲラレル爲ニ脅カサレタ農民ハ、是マデノ既定ノ小作料以外ノ小作料ヲ地主ノ所ニ持つテ行ツテ、土地ノ取上ゲヲ辛ウジテ防イデ居ル、斯クノ如クシテ地主ニ入ツタ

所ノ主食糧ガ、都會ニ流レテ、金持ノ腹コニ入ル大キナ「ルート」ガ出來テ居リマス、斯ウ云フヤウナ具體的ノコトヲ防ギ止メヨウトシナイデ、唯民主的ナト云フ言葉ヲ使ヒマシテモ、斯ウ云フコトハ根本的ニ解決サレナイデアリマセウ、ソレデ私共ガ關係ヲ持ツテ居リマス所ノ或ル村々ニ於キマシテハ、實際ニ民主的ナ農民委員會ノ組織ニ依リマシテ、科學的ナ檢見一筆調査、坪刈等ニ依ツテ、今マデノ割當トハマルデ違フ所ノ、科學的ナ方法デ以テ割當ヲ致シマシタ、其ノ結果ハ、是ハ或ル村ニハ農林省ノ調査官ガ見エテ居リマスカラ、和田サンモ能ク御存ジデアラウト思ヒマスガ、是マデドノ村ヨリモ供出ノ成績ヲ實際ニ上ゲテ居リマス、ドノ村ヨリモ先ニ供出ヲ完納シテ居リマス、サウシテ其ノ供出ヲ完納シタダケデナク、村内ニ居ル所ノ非農家ニ對シテ、特別供出ヲシテ其ノ生活ヲ確保シヨウトスル方向ニサヘ向ツテ居リマス、ノミナラズ、是ハ或ル地方ニ於ケル所ノ農民協議會ト云フモノト、勞働組合並ニ食糧管理委員會ト直結シマシタ、都市ノ非農家ノ生活ヲ確保スル方向ニマデ進ンデ居ルデアリマス、斯ウ云フ工合ニ、私共ガ民主的ナ組織ノ力ニ依ツテ、科學的ニヤツテ居リマス所ノ農村ニ於テハ完納ヲ致シマシテ、實際ニ強權發動ノ必要ガ少シモノナイデアリマス、強權發動ノ必要ガアルト云フコトハ、強權發動ヲシナケレバ食糧ノ供出ヲナシ得ナイ所ノ、下手ナ政策ヲ持タナイト云フ何ヨリノ證據ダト思フノデアリマス、眞ニ民主的ナ組織ニ依ツテ、民主的ナ方法ニ依ツテ、食糧ノ問題、農業ノ問題ヲ解決シヨウトスルナラバ、強權發動ナドト云フコ

トハ絕對ニ必要ガナイ、デアリマスカラ、此ノ條件ヲ付ケテ是デ賛成スルコト云フヤウナ措置令其ノモノガ、既ニ非常ニ大キナ缺陷ヲ持ツテ居ル何ヨリノ證據デアリマス、私共ハ是ガ優レタ法案デアリ、措置令デアレバ、條件モ何モ付ケズ、心カラ賛成スルデアリマス、賛成出來ナイ、之ニ絕對ニ反對ヲ唱ヘナケレバイケナイノハ、之ニ依ツテ農業ノ發展並ニ供出ノ完遂ト云フコトガ、到底望メナイト云フコトヲハツキリ知ツテ居ルカラデアリマス、デ今マデ私共ガ實際ニ實驗シテ居リマスヤウナ方法、詰リ眞ニ民主的ナ勸ク農民ノ組織ニ依ツテ、科學的ナ官僚的デナイ、地主的デナイ方法ニ依レバ、食糧ノ問題モ解決シ、農業ノ問題モ正シイ發展ヲ遂ゲラレト云フ自信ヲ持ツテ居リマスカラ、サウ云フ立場ニ立タナイ所ノ此ノ措置令ニ對シテ、全面的ニ反對セザルヲ得ナイデアリマス

○成島委員長 北政清君

○北(政)委員 私人本議題トナツテ居リマス食糧緊急措置令ハ承認スベカラズト主張スルモノデアリマス、其ノ理由ハ、元來食糧ガドウシタナラバ完全ニ配給ガ出來、國民ガ安心シテ生活ガ出來ルカト云フコトガ主ナル問題デアリデアリマス、然ラバ此ノ法令ハ農民ノミヲ對象トシタ法令デアリマス、元來正式「ルート」ニ流レナイガ故ニ非常ニ混亂ヲ來シテ居ルデアリマス、常ニ混亂ノ正式「ルート」ニ流サナイ主私ハ寧ろ、正式「ルート」ニ出部隊、關商人ニアルデアリマス、其ノ主導者ガ關セラレナイデ、農民ダケガ關セラレル、皆サンガ付ケテラタ條件並ニ農林大臣ガ御説明ニナリマシタ農民ノ組織、食糧委員會、其ノ委員會

カラ申請シタモノデナケレバ罰シナイコトニ致シマスナラ、農民ダケガ罰セラレル法令ニ完全ニナルデアリマデ、徳川幕府ノ純粋封建時代ニ於テモ、生業物ノ總テ取上ゲル、斯ウ云フ強權ヲヤツタコトハナイデアリマス、又「ソウ」エト「一九二〇年、一九二一年」ニ行イマシタ、穀物專賣制ヲ布キマシテ、サウシテ之ニ應ジナイ者ニハ十年以上ノ懲役ヲ科シ其ノ村落カラ追放スルノ令ヲ出シタデアリマデ、其ノ結果大失敗ニ終リマシテ、赤衛軍ヲ繰出シテサヘ解決ガ出來ナイ、斯クシテ「レーニン」及「クラシン」ガ「ロシヤ」ノ政策ヲ根本的ニ變更シテ、國家資本主義ヘト大轉向ヲ致シマシタモノデアリマス、此ノ實績カラ見マシテモ、斯様ナ農民ノミヲ差別待遇スル法令ト云フモノハ、斷ジテ供出ヲ阻ムモノデアリ、逆ニナル、政府ノ考ヘ方ト私考ヘトハ違フ、私ハ「マツカーサー」司令部ガ十二月九日ニ政府ニ出サレタ所ノ指令ヲ見マシテモ、民主主義化促進上經濟的障礙ヲ排除シ、人權ノ尊重ヲ完カラシメ、且ツ數世紀ニ亙ル封建的壓制ノ下、日本農民ヲ奴隸化シテ來タ經濟的桎梏ヲ打破スルガ爲メ、日本帝國政府ハ其ノ耕作農民ニ對シ、其ノ勞働ノ成果ヲ享受スル爲メ、現狀以上ノ均等ノ機會ヲ保障スベキコトヲ指令ス、斯ウ言ツテ來テ居ルデアリマス、此ノ「マツカーサー」司令部ノ指令ニ對シマシテモ大キナ反對の行動デハナイカ、私ハ斯ク信ズルモノデアリマス、又私共ハ此ノ法令ガ色々ナ條件ヲ付ケテ骨抜きシテ、ソレデモ必要ダト云フ所ノ官僚精神、是ガ農政ノ全面ヲ支配シテ居ル所ノ官僚頭ナンデアリマス、其ノ結果ガ今日

ノ食糧事情ニ立至ツテ居ルト云フコトヲ御自覺願ヒタイデアリマス、私共ハ現ニ政府ガ昨年ノ八月カラ十二月マデノ肥料、硫酸ノ配給ニ付キマシテ、割當テ十二月中ニ配給セナケレバナラヌモノヲ一月ニナツテ配給シ、ソレヲ二月六日ニ一週ニ二十六倍ト云フ暴騰ヲサセタ價格ニシテ、一月ノ最初ニ週及シテヤルト云フコトニナツタ、昨年ノ十二月マデニ農民ニ與ヘテ居ルモノダケデモ斯ウデス、其ノ金額二千六百萬圓ダト私記憶シテ居ルデアリマデ、又本年ノ春以來、自給肥料ノ獎勵ニ五千萬圓ヲ出シヤルト言ツテ、各町村ハ堆肥ノ獎勵ノ爲ニ品評會ヲヤリ、既ニ此ノ經費ハ使ツテシマツテ居ルノニ、豫算ガナイト言ウテ出サナイ、又報奨物資、此ノ報奨物資ノ農機具等ニシテモドウデスカ、莫大ナ値上リヲサセテ、負擔ヲサセテ居ルデアリマセウガ、斯様ナ農民ニ信賴ノナイ今尙ホ口先デ釣ツテ行カウト云フ欺瞞政策デハ、ドウシテモ駄目ダ、如何ナル強權、強力ナ法律ガ出マシテモ、農民ハ之ニ協力セナイドラウ、斯ク致シマスナラバ、寧ろ却ツテ逆ニ、食糧配給ノ不圓滑ヲ來ス大本トナルデアリマスガ故ニ、是ガ私ノ第一ノ反對理由デアリマス

次イデ農民ガ喜ンデ供出スルノ方法ガアルカ、先ヅ私ハ價格問題ニ於キマシテモ、過般大藏大臣ハ現在ノ米價ガ二石六斗ヲ以テ計算サレテ、一石四斗ノ昨年ノ收穫ヨリナイノデ、非常ニ間接ヒダツタト云フコトヲ、大藏大臣ハハツキリ致シテ居リマス、然ルニ農林大臣ハ五百圓生活ヲ維持スル爲ニ此ノ値デ置カナケレバナラヌト、斯ウ言ウテ居ル、大藏大臣ト農林大臣ト何時ノ

間ニ變ツタカ分ラヌヤウニ變ツタ、是レ即チ農林大臣ノ肚ノ中、五百圓生活ノ爲ニハ農民ヲ犠牲ニスルコト差支ヘナシト云フ斷案カラ來テ居ル、實ニ重大ナ思想ガ此處ニ流レテ居ルデアリマス、又現在ノ價格ニ付テ之ヲ正シイト思ツテ居ラレカ、大藏大臣ハ物價水準ヲ、公定價格ト閣價格トノ中間ヲツキリ致シテ居ル、斯様ナ意味合ニ於キマシテモ、昨年ノ秋六十圓ソノノデ撈取ヲウトスル、又春ニナツテ肥料ハ二十六倍ニ上ゲルト云フコトデ、所謂資本家ノ經營シテ居ル肥料會社ノ利益ノ爲ニハ躊躇セナダガ、農民ニハ石三百圓ニシタ、一俵ガ百二十圓ニシタ、最近略ニ聞ク所ニ依レバ、成程自由黨ト陰デ御相談ガアツタト、サツキ自由黨ノ委員ノ方ガ仰シヤツタカラ、陰デアツタノドラウト思フガ、一石六百圓、私ハ一石カ一俵カ分ラヌガ、一體コナ價格デ農民カラ撈取ル爲ニハ此ノ法令ガ宜イノカ、ソコニ根本的ニ價格ノ問題ガアル、私共ハ價格ハ何モ無茶ナコトハ言ハヌ、世間ノ一般物資ト公平ニシテ賣ヘバ宜シウゴザイマス、先ヅ現在ノ勞働賃金ニ於テドウダ、現在三百圓ト見テ居ル勞働賃金ハ、農民ノ一日ノ勞働ヲ十圓ト云フ計算カラ來テ居ル、現在政府ガ出シテ居ルノ豫算面カラ見テモ、給仕一人デ、一日十圓、昨年國民學校ヲ出タ所ノ女給仕デ、勞働時間ニ於テ少クトモ三倍、アノ人方ハ年々通ジテ五時間行キマセウ、農民ハ十五時間行ツテ居リマス、勞働力ニ於テ問題ニナラナイ、恐ラクアノ給料ノ十倍ノ賃金ヲ貰ツテモヤレマイ、私共其ノヤウナ十五倍ニセヨト云フノデハナイガ、是等ノ勞働賃

金ハ、闇價格ヲ賣ツテ生活ヲ維持スル
ト云フコトカラ之ヲ御認メニナツタモ
ノデアルカ、果シテ然ラバ、此ノ米價
ヲ値上ゲシマスナラバ、此ノ勞働賃金
ヲ増サナケレバナラヌト云フ理由ハナ
クナツテ來ル、タツタ十圓デ農民ノ仕
事ガドウシテ出來マスカ、又私ハ適當
ナ時期ニ、適當ナ價格デナケレバナラ
ヌト思フデアツテ、是ハ昨秋アタ
リ、私ハ石五百圓程デヤルナラバ、殆
ド政府ノ手ニ集リ、斯ウマデ皆ニ不安
ヲ與ヘナイデ行ケタ、然ルニモ拘ラズ
六十圓位デ消費者ノ手ニ渡ル、ダカラ
汽車ト布團ヲ持込ムヤラ、窓ヲ打破ル
ヤラシテ、汽車ヲ打壞シテシマツタ、
其ノ原因ハ何處ニアツタカト言ヘバ、
適當ナ時ニ適當ナ價格ニシナカツタカ
ラデアル、アノ強權デオ前ハ五年以上
食ハスゾ、十五萬圓ノ罰金ダ、煽動ス
ル者ハ三年ダ、斯ウ云フコトデ日本ノ
食糧問題ガドウシテ解決出來マスカ、
私共ハ今年ノ收穫カラ見テ、七千五百
萬ノ人口トシテ、政府ノ發表サレテ居
ル五千七百萬石ノ米ノ生産、又麥ノ生
産、其ノ他二千萬石デ、此ノ七千七百
萬石ヲ一人一石ゾツト看做シテモ七千
五百萬石デ宜イ、我々三合配給ト云フ
コトハ種モ何モナイコトヲ言ツテ居ル
ノデハナイ、アリモシナイノニ三合配
給ナドト云フコトハ言ハナイ、輕労働
ニ於テ三合ハ樂々ヤレル、之ヲ一人當
リニスレバ、子供モアルカラ、二合五
勺ニナルデセウ、サウスルト是ハ樂々
ヤレル、三合配給ヲスルコトニナツタ
ラ誰ガ買出し行ケカ、誰ガ精流シヲ
スルカ、是ハ決シテ不安ナ數字デハナ
イ、巧ク行ケバ六千萬石行ケデセウ、
又聯合國側ト云フヤウナ御話モアリマ
シタガ、日本國內デ獲レタモノデ、之

ヲ榮養ノ足ルダケ食ハセルト云フコト
ニハ恐ラク御反對ハナイト思フ、ソレ
位ノ御説明ハ大臣トモアラウガ行ツ
テ出來ナイコトハナカラウト思フ、又モ
ウ一ツハ、先程皆サンカラモ御話ガア
ツテ、輕イ條件附デアリマシタガ、私
ハ之ヲ絕對的ニ必要トスル、今ノヤウ
ニ何一ツ買フニモ、米ヲ持ツテ行カ
ナケレバナラヌト云フヤウナ實情デ、
オ前達ハソレデモ出サナケレバナラヌ
ノダト云フコトハ、是ハ誰ガ何ト言ツ
テモ農民自身ノ組織スル團體ニ扱ハセ
テコソ、他ニ横流シスル必要モナクナ
ル、ソレヲ流シタラ農民自身ノ責任デ
アル、斯ウヤレバ米ヲ他ニ流サナケレ
バナラヌ理由ガナクナル、此ノ理由ヲ
除ケバ宜イ、是ガドウシテ出來ナイノ
カ、今尙ホ少數ノ營業者ヲ助ケンガ爲
ニ、多數ノ農民ト消費者ヲ苦シメ抜イ
テ居ル、私共ハ之ヲ打開スルコトニ依
ツテ、コンナ法令ハナクテモ樂ニ三合
配給ハヤレルト云フ確信ヲ持ツテ居
ル、尙ホ官僚ノ方ニ、自分ガ言ヒ出シ
タノダカラ何トシデモ否決サレテハ困
ルト云フ、洵ニ淺マシイ氣持ガアル、
其ノ意味ニ於テ斷ジテ本法案ハ承認ス
ベカラズト思ヒマス、以上ヲ以テ私ノ
意見ヲ終リマス

○成島委員長 討論ハ終局致シマシ
タ、是ヨリ採決ニ入リマス、原案ニ承
諾ヲ與フベキモノトスルニ賛成ノ諸君
ノ起立ヲ願ヒマス

(賛成者起立)

○成島委員長 起立多數、仍テ本案ハ
原案ノ通り承諾ヲ與フベキモノト決定
致シマシタ、此ノ委員會ニ併託サレマ
シタ農林中央金庫法の一部を改正する
法律案ノ審議ハ、明後二十三日午前十
時ヨリ開會致シマス、本日ハ之ヲ以テ

散會致シマス
午後零時二十六分散會

昭和二十一年九月十日印刷

昭和二十一年九月十一日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局